

令和6年度（第78期）	
配属地	修習順序 ～ ～ ～
氏名	組 番

実務修習結果簿

作成上の注意

- 1 事前に、実務修習結果簿（以下「結果簿」という。）の表紙の所定欄に自己の配属地・修習順序・氏名・組・番号及び担当教官の氏名を漏れなく記入しておくこと。
- 2 結果簿は、各配属庁会における修習終了日に指導担当官（者）の検印を受けた上で提出する必要があるため、記入すべき事項はあらかじめ整理しておくこと。
- 3 (1) 書式データの様式は改変しないこと。
(2) 余白がなくなったときは、適宜 A4 の紙（コピー用紙等）や未記入の書式データを用いるなどして、新たなページを作成すること。その際は、枝番を付したページ番号を記載し（例：10-1、10-2）、ページの連続性を明らかにすること。
- 4 民事裁判修習期間中に刑裁起案を行った場合など、本来の配属庁会での修習期間中に、他の実務修習をした場合は、当該修習期間に係る結果簿の「その他」欄にその結果を記載すること。
- 5 記入に当たって不明な点があれば、指導担当官（者）又は担当教官に質問すること。
- 6 (1) 各配属庁会での修習終了日に、修習結果を記載した結果簿を A4 の紙に印刷し、修習生各自で指導担当官（者）に提出して検印をもらうこと（指導担当官（者）の氏名欄は、修習生各自が記入すること。）。
(2) 検印を受けた後、修習生各自で結果簿の当該分野別実務修習について記載した部分（検印を受けたもの）を1部コピー（A4の紙、等倍、両面コピー）し、各配属庁会での修習終了日に、修習事務担当者に提出すること（配属庁会において、提出された結果簿のコピーを取りまとめて司法研修所に送付する必要があるため、提出期限を厳守すること。）。使用するコピー機等については、指導担当官（者）又は修習事務担当者の指示に従うこと。
- 7 結果簿は、配布されたルール式クリアファイルに本表紙・裏表紙とともに綴り、紛失汚損に注意して保管すること。導入修習チェックシートは作成後速やかに保管用の写しを本表紙の直後に、選択型実務修習計画書は作成後速やかに保管用の写しを裏表紙の直前にそれぞれ綴ること。

※ 記載された内容は、司法修習の在り方等を検討するために使用する場合があります。

司法研修所 教官氏名	民事裁判	刑事裁判	検 察	民事弁護	刑事弁護

民事裁判修習

配属部 指導担当 裁判官 検印	
--------------------------	--

令和6年度（第78期）		
修習地	組番	氏名

修習期間	欠席日数
令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで	日
配属部 指導担当 裁判官 氏名	

事実認定 起案数	争点整理 起案数	起案 総件数

法廷傍聴 件数

※後記「1 起案」の件数をそれぞれ集計してください。

「事実認定起案数」、「争点整理起案数」欄は、それぞれ「事実認定」、「争点整理」のチェックの数を記載してください。双方にチェックがあるときは、双方に計上してください。

「起案総件数」欄には、起案をした事件数の合計（左側の番号欄の一番最後の数）を記載してください。問研起案は含みません。

※後記「2 法廷傍聴等」

に記載した件数を集計し、記載してください。

保全		執行		倒産	
事件	講義	事件	講義	事件	講義

※後記「3 特殊事件・特殊手続等」の各事件の、各項目のチェックの有無を「○」か「×」で記載してください。

1 起案

番号	事件名／起案の種類	検討事項及びその結果概要
	事件名： <input type="checkbox"/> サマリー・ライティング <input type="checkbox"/> 争点整理/□事実認定 <input type="checkbox"/> 判決起案 <input type="checkbox"/> 争点整理/□事実認定 (□対席/□欠席/□公示送達) (□全文/□一部) <input type="checkbox"/> リサーチ・ペーパー <input type="checkbox"/> 和解条項 <input type="checkbox"/> 既済記録・修習記録を使用	検討事項： 検討結果：
	事件名： <input type="checkbox"/> サマリー・ライティング <input type="checkbox"/> 争点整理/□事実認定 <input type="checkbox"/> 判決起案 <input type="checkbox"/> 争点整理/□事実認定 (□対席/□欠席/□公示送達) (□全文/□一部) <input type="checkbox"/> リサーチ・ペーパー <input type="checkbox"/> 和解条項 <input type="checkbox"/> 既済記録・修習記録を使用	検討事項： 検討結果：
	事件名： <input type="checkbox"/> サマリー・ライティング <input type="checkbox"/> 争点整理/□事実認定 <input type="checkbox"/> 判決起案 <input type="checkbox"/> 争点整理/□事実認定 (□対席/□欠席/□公示送達) (□全文/□一部) <input type="checkbox"/> リサーチ・ペーパー <input type="checkbox"/> 和解条項 <input type="checkbox"/> 既済記録・修習記録を使用	検討事項： 検討結果：

事件名：	検討事項：
<input type="checkbox"/> サマリー・ライティング <input type="checkbox"/> 争点整理/□事実認定 <input type="checkbox"/> 判決起案 <input type="checkbox"/> 争点整理/□事実認定 (□対席/□欠席/□公示送達) (□全文/□一部) <input type="checkbox"/> リサーチ・ペーパー <input type="checkbox"/> 和解条項	検討結果：
<input type="checkbox"/> 既済記録・修習記録を使用	
事件名：	検討事項：
<input type="checkbox"/> サマリー・ライティング <input type="checkbox"/> 争点整理/□事実認定 <input type="checkbox"/> 判決起案 <input type="checkbox"/> 争点整理/□事実認定 (□対席/□欠席/□公示送達) (□全文/□一部) <input type="checkbox"/> リサーチ・ペーパー <input type="checkbox"/> 和解条項	検討結果：
<input type="checkbox"/> 既済記録・修習記録を使用	
事件名：	検討事項：
<input type="checkbox"/> サマリー・ライティング <input type="checkbox"/> 争点整理/□事実認定 <input type="checkbox"/> 判決起案 <input type="checkbox"/> 争点整理/□事実認定 (□対席/□欠席/□公示送達) (□全文/□一部) <input type="checkbox"/> リサーチ・ペーパー <input type="checkbox"/> 和解条項	検討結果：
<input type="checkbox"/> 既済記録・修習記録を使用	
事件名：	検討事項：
<input type="checkbox"/> サマリー・ライティング <input type="checkbox"/> 争点整理/□事実認定 <input type="checkbox"/> 判決起案 <input type="checkbox"/> 争点整理/□事実認定 (□対席/□欠席/□公示送達) (□全文/□一部) <input type="checkbox"/> リサーチ・ペーパー <input type="checkbox"/> 和解条項	検討結果：
<input type="checkbox"/> 既済記録・修習記録を使用	

(注) 問研起案は、「5 その他」に記入すること。

2 法廷傍聴等

番号	手続	検討事項	検討結果等
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

(注) 傍聴については、記録を読んだ上で問題点を検討して傍聴に臨んだものや、傍聴後に問題点について検討したものに限って記入すること。「検討結果等」欄には、検討結果や指導担当裁判官から指導された内容等を記入する。

3 特殊事件・特殊手続等

(1) 保全・執行・倒産

① 保全

<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 事件 (件)	講義・修習した事件の内容・検討結果等
---	--------------------

② 執行

<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 事件 (件)	講義・修習した事件の内容・検討結果等
---	--------------------

③ 倒産

<input type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 事件 (件)	講義・修習した事件の内容・検討結果等
---	--------------------

(注) ①～③について、講義等において事件記録の検討を行った場合には、「講義」と「事件」の両方をチェックし、検討を行った事件記録の件数を記入すること。

(2) 特殊事件（行政、労働、商事、手形、知的財産権等）

事件の種類	検討事項及び検討結果等

(3) 特殊手続（検証、裁判外での証人尋問、証拠保全、書記官事務等）

手続の種類	検討事項及び検討結果等

4 研究、講義、見学等

項目	検討事項及び検討結果等

5 その他

項目	修習内容等

- (注) 1 修習内容等の欄には、具体的な修習内容、感想等を記入する。
2 適宜各欄の大きさを定め、1件ごとに横線により区切りを設ける。

6 振り返り

課題を感じた事項	修習中の取組内容等

(注) 導入修習チェックシートの記載を見直し、導入修習中に感じた自己の課題について、分野別実務修習を通じて課題を感じた事項に変化があったか否か、新たに感じた課題も含めそれらの課題について分野別実務修習や同期間中の自学自修でどのように取り組んだかを振り返り、課題を解消できた程度や残された課題等についても記載してください。

刑事裁判修習

令和6年度（第78期）		
修習地	組 番	氏名

配属部 指導担当 裁判官 検 印		令状事務 指導担当 裁判官 検 印	
---------------------------	--	----------------------------	--

修習期間 令和 年 月 日 から 令和 年 月 日 まで	欠席日数 日
配属部 指導担当 裁判官 氏 名	
令状事務 指導担当 氏 名	

事実認定 起案件数	量刑 起案件数	手続上の問題 に関する 起案件数	その他 起案件数	起案 総件数

※後記「1 起案」の件数を集計してください。起案総件数は左欄の事件名等を、それ以外は起案文書数を基準として集計してください。

公判前 整理手続 傍聴件数	手続傍聴 総件数

※後記「2 問題点を検討した手続傍聴」の件数を集計してください。

裁判員裁判の 傍聴	評議の傍聴

※同2の該当事件の記載の有無を、「○」か「×」で記入してください。

令状事務

※後記「3 令状事務」の記載の有無を、「○」か「×」で記入してください。

模擬裁判

※後記「4 模擬裁判」の記載の有無を、「○」か「×」で記入してください。

3 令状事務

項目	検討事項及びその結果概要

- (注) 1 項目欄には、「令状事務に関する講義」「勾留請求記録の検討及び勾留質問手続の傍聴〇件」などと、修習の種類を具体的に記入する。ただし、勾留質問手続の傍聴については、記録を読んだ上で問題点を検討して傍聴に臨んだものや傍聴後手続等の問題点について検討したものに限りその件数を記入する。
- 2 項目により適宜各欄の大きさを定め、1件ごとに横線により区切りを設ける。
- 3 令状事務に関して起案を行った場合には1に記入する。

4 模擬裁判

事件名／手続の種類	役割及び問題となった事項の概要
事件名： <input type="checkbox"/> 公判前整理 <input type="checkbox"/> 公判 <input type="checkbox"/> 評議 <input type="checkbox"/> 判決	<input type="checkbox"/> 検察官 <input type="checkbox"/> 弁護士 <input type="checkbox"/> 裁判官 <input type="checkbox"/> 証人 <input type="checkbox"/> 被告人 <input type="checkbox"/> その他 問題となった事項：
事件名： <input type="checkbox"/> 公判前整理 <input type="checkbox"/> 公判 <input type="checkbox"/> 評議 <input type="checkbox"/> 判決	<input type="checkbox"/> 検察官 <input type="checkbox"/> 弁護士 <input type="checkbox"/> 裁判官 <input type="checkbox"/> 証人 <input type="checkbox"/> 被告人 <input type="checkbox"/> その他 問題となった事項：

- (注) 1 該当する□をすべてチェックすること。
- 2 選択型修習における模擬裁判プログラムはここに記入しないこと。

5 その他

項目	検討事項及びその結果概要

- (注) 1 項目欄には、「問題研究」「書記官事務に関する講義」など、修習の内容が分かるように記入する。
- 2 項目により適宜各欄の大きさを定め、1件ごとに横線により区切りを設ける。
- 3 修習生が自主的に行う勉強会において裁判官から協力・指導等を得た場合には、その旨が分かるように記入する。

6 振り返り

課題を感じた事項	修習中の取組内容等

(注) 導入修習チェックシートの記載を見直し、導入修習中に感じた自己の課題について、分野別実務修習を通じて課題を感じた事項に変化があったか否か、新たに感じた課題も含めそれらの課題について分野別実務修習や同期間中の自学自修でどのように取り組んだかを振り返り、課題を解消できた程度や残された課題等についても記載してください。

家庭裁判所の修習

1 家事事件

配属部	
指導官	
検印	

令和6年度（第78期）		
修習地	組番	氏名

修習期間				欠席日数	
令和	年	月	日	から	
令和	年	月	日	まで	日
配属部 指導官 氏名					

項目	問題となった事項

項目	問題となった事項

(注) 項目欄には、審判傍聴、訴訟傍聴、調停傍聴、起案、調査立会い、講義、研究会、見学等を記入し、問題となった事項欄には、事件や講義等の概要及び問題となった事項に関する検討結果や指導担当裁判官から指導された内容等を具体的に記入する。

2 少年事件

配属部	
指導官	
検印	

令和6年度(第78期)		
修習地		氏名
	組番	

修習期間	欠席日数
令和 年 月 日 から	
令和 年 月 日 まで	日
配属部	
指導官	
氏名	

項目	問題となった事項

(注) 項目欄には、審判傍聴、起案、調査立会い、講義、研究会、見学等を記入し、問題となった事項欄には、事件や講義等の概要及び問題となった事項に関する検討結果や指導担当裁判官から指導された内容等を具体的に記入する。

検 察 修 習

指導官 検 印	
------------	--

令和6年度（第78期）		
修習地	組 番	氏名

修習期間	欠席日数
令和 年 月 日 から	
令和 年 月 日 まで	日
指 導 官	
氏 名	

身柄事件の件数 (確定記録を除く)	在宅事件の件数 (確定記録を除く)	身柄事件の件数 (確定記録)	在宅事件の件数 (確定記録)	身柄区分が不明の 件数 (確定記録)

※後記「2 捜査実務演習」の件数を集計してください。即日釈放（即釈）は在宅事件としてください。

公判実務修習 (確定記録を除く)		公判実務修習 (確定記録)	
経験件数	起案件数	経験件数	起案件数

※後記「3 公判実務修習」の件数を集計してください。

--	--	--

(注) 処理済みの事件記録(確定した事件や不起訴処分とした事件の記録を含む。以下同じ。)等を用いた演習等のうち、導入教育として実施されたものを記入する。

2 捜査実務演習

(1) 捜査及び事件処理等

例	罪 名 強 盗	被疑者数 2	身柄区分 勾 留	処分内容 公判請求	関与形態 修習生2名共同捜査
	事案の概要及び問題点 2人組により連続路上強盗事件(3件)。 強取金額合計15万円。 強盗と恐喝の区別が問題になった。		修習の内容 強盗と恐喝の区別につき裁判例を調査し、事件検討メモの作成と起訴状の起案。 Vのうち1名の取調べを担当。		
例	罪 名 強盗殺人	被疑者数 1	身柄区分 勾 留	処分内容 公判請求	関与形態 確定事件記録を用いた演習
	事案の概要及び問題点 コンビニで万引きをしたAが、これに気付き捕まえようとした店員を、所持のナイフで刺殺した事案。 殺意の有無が問題となった。		修習の内容 確定記録のうち、送致段階の記録の配布を受け、争点の把握、補充捜査事項等を検討し、その後、追送された記録の配布を受け、殺意等についての事件検討メモ、起訴状を作成。		
1	罪 名	被疑者数	身柄区分	処分内容	関与形態
	事案の概要及び問題点		修習の内容		
2	罪 名	被疑者数	身柄区分	処分内容	関与形態
	事案の概要及び問題点		修習の内容		

3	罪 名	被疑者数	身柄区分	処分内容	関与形態
	事案の概要及び問題点		修習の内容		
4	罪 名	被疑者数	身柄区分	処分内容	関与形態
	事案の概要及び問題点		修習の内容		
5	罪 名	被疑者数	身柄区分	処分内容	関与形態
	事案の概要及び問題点		修習の内容		
6	罪 名	被疑者数	身柄区分	処分内容	関与形態
	事案の概要及び問題点		修習の内容		
7	罪 名	被疑者数	身柄区分	処分内容	関与形態
	事案の概要及び問題点		修習の内容		

	罪 名	被疑者数	身柄区分	処分内容	関与形態
8	事案の概要及び問題点		修習の内容		
	罪 名	被疑者数	身柄区分	処分内容	関与形態
9	事案の概要及び問題点		修習の内容		

- (注) 1 処分内容欄には、起訴の場合、公判請求、即決裁判手続、略式請求の別等を、不起訴の場合、裁定主文を記入する。
- 2 関与形態欄には、「単独」、「修習生〇名の共同捜査」等と記入する。
- 3 修習の内容欄には、当該事案に関して行った捜査方針の検討、取調べその他の証拠収集活動、終局処分の検討、起訴状や決裁メモの起案等について記入する。
- 4 修習の内容欄に、取調べについて記入する場合、取調べの対象者（被疑者、被害者等）が分かるように記入する。また、取調べについては、発問全てを行った場合に限らず、発問の一部を行った場合であっても、修習の内容欄に記入して差し支えない。
- 5 処理済みの事件記録等を用いた演習について記載する場合には、関与形態欄に「確定事件記録を用いた演習」などと記入する。

(2) その他

事 項	修習日数	修習内容等

- (注) この欄には、捜査実務に関する修習のうち、2(1)に該当しないもの、例えば、検察演習問題等の検討・討論、各修習生が処理した事件についての発表会のほか、捜索・差押え、検証、実況見分、検視、司法解剖等の各立会い等について記入する。

3 公判実務修習

	罪名及び事案の概要	修習・起案の内容
例	覚せい剤取締法違反 暴力団員である被告人が、覚せい剤を営利目的で輸入した事案。	<ul style="list-style-type: none"> ・証拠整理、証拠等関係カードの起案 ・冒頭陳述要旨の起案 ・譲受人の証人テストの立会い及び尋問事項書の起案 ・裁判員裁判のリハーサルへの参加（発問等） ・事件記録を検討し、当該事件の公判前整理手続/公判手続を傍聴
1		
2		
3		
4		
5		

(注) 1 処理済みの事件記録等を用いた演習について記載する場合には、罪名及び事案の概要欄の罪名に続けて「(確定事件記録を用いた演習)」などと記入する。

2 起案を行った場合には、「〇〇の起案」と記載し、その旨明示する。

4 その他

事項	修習日数	修習内容等

(注) この欄には、検察一斉起案及びその講評のほか、1に該当しない講義、講話、見学、研究会等を記入する。

5 振り返り

課題を感じた事項	修習中の取組内容等

--	--

(注) 導入修習チェックシートの記載を見直し、導入修習中に感じた自己の課題について、分野別実務修習を通じて課題を感じた事項に変化があったか否か、新たに感じた課題も含めそれらの課題について分野別実務修習や同期間中の自学自修でどのように取り組んだかを振り返り、課題を解消できた程度や残された課題等についても記載してください。

弁護修習

指導担当 弁護士検印	
---------------	--

令和6年度（第78期）		
修習地	組 番	氏名

修習期間	欠席日数
令和 年 月 日 から	
令和 年 月 日 まで	日
指導担当 弁護士 氏 名	

(I 民事弁護)

法律相談件数	争訟事案 (訴状、申立書、 準備書面等) 起案件数	弁論等 傍聴件数	打合せ等件数	証人尋問等 起案件数	証人尋問等 傍聴件数

※後記「1 法律相談、交渉、受任等の立会傍聴」、「2 争訟事案」の件数を集計してください。

保全事件	執行事件	倒産事件

※同2「(5) 保全・執行・倒産等」の各事件の記載の有無を「○」か「×」で記入してください（証拠保全は含みません。）。

(II 刑事弁護)

刑事弁護経験 (自白事件)	刑事弁護経験 (否認事件)	起案 (自白事件)	起案 (否認事件)	接見経験

※後記「1 被疑者弁護」の件数を集計してください（一部否認の場合は否認事件としてください。）。

刑事弁護経験 (自白事件)	刑事弁護経験 (否認事件)	起案 (自白事件)	起案 (否認事件)	接見経験

※後記「2 被告人弁護」の件数を集計してください（一部否認の場合は否認事件としてください）。

I 民事弁護

1 法律相談（弁護士会、自治体及び事務所等におけるもの）、交渉、受任等の立会傍聴

番号	相談内容等の概要	問題点とその検討結果

番号	相談内容等の概要	問題点とその検討結果

- (注)
- 1 番号欄には番号を付し、事案の内容により適宜各欄の大きさを定め、1件ごとに横線により区切りを設ける。
 - 2 1件ごとに、予想される問題点及び聴取技術・弁護士倫理上考慮した点等について留意し、それらについて事前・事後に検討した結果を記入する。
 - 3 争訟事案（裁判所又は裁判外紛争解決制度により解決される法律上の紛争事案）以外の依頼者・顧問先等との打合せも記入する。
 - 4 争訟事案の当事者等との打合せは、2(3)又は2(5)に記入する。

2 争訟事案（裁判所又は裁判外紛争解決制度により解決される法律上の紛争事案）

(1) 起案（訴訟・調停[民事・家事]・ADR等の訴状・申立書・準備書面、内容証明、和解条項等）

1	事件名	実体法上・手続法上の問題点
	手続・審級	
	起案の種類	
	事案の概要	問題点についての検討結果、起案上留意した点
2	事件名	実体法上・手続法上の問題点
	手続・審級	
	起案の種類	
	事案の概要	問題点についての検討結果、起案上留意した点

3	事件名	実体法上・手続法上の問題点
	手続・審級	
	起案の種類	
	事案の概要	問題点についての検討結果、起案上留意した点
4	事件名	実体法上・手続法上の問題点
	手続・審級	
	起案の種類	
	事案の概要	問題点についての検討結果、起案上留意した点
5	事件名	実体法上・手続法上の問題点
	手続・審級	
	起案の種類	
	事案の概要	問題点についての検討結果、起案上留意した点
6	事件名	実体法上・手続法上の問題点
	手続・審級	
	起案の種類	
	事案の概要	問題点についての検討結果、起案上留意した点

- (注) 1 裁判所提出書面だけでなく、依頼者への期日報告書、法的問題点に関する検討メモ、リサーチペーパー等も含む。
- 2 6件以上起案した場合には、別紙に記入する。
- 3 尋問事項書等立証に関わる起案は、(4)に記入する。

(2) 弁論等傍聴（口頭弁論、弁論準備、和解、調停、審判、審尋、裁判官面接等）

番号	事件名	手続	問題点	検討結果等

- (注) 1 傍聴の前後に担当弁護士から指導を受け、あるいは事件の記録を十分検討するなど手続進行について修習生が学修を行った場合に記入し、単に法廷傍聴をただけの場合は、この表に記入する必要はない。
- 2 尋問を傍聴した場合には(4)に記入する。
- 3 1件ごとに、横線により区切りを設ける。

(3) 当事者との打合せなど

番号	打ち合わせた内容等	問題点とその検討結果

- (注)
- 1 期日間の打合せのみならず、申立前の打合せ、事件終了後の打合せも記入する。
 - 2 尋問等の打合せも記入する。
 - 3 1件ごとに、横線により区切りを設ける。

(4) 証人尋問等立証活動

① 尋問事項書等立証に関わる起案

事件名	起案の種類	事案の概要・起案内容	問題点とその検討結果等

- (注) 1 書証の提出の検討並びに証拠説明書及び主張と証拠の関係の整理メモの作成もここに記入する。
 2 人証に関する立証計画、陳述書の作成、尋問事項の検討（反対尋問の検討も含む。）、その他人証に関する検討とこれらに関するメモの作成等もここに記入する。
 3 既済事件の記録に基づき起案を行った場合も記入する。

② 尋問の傍聴及び尋問後の検討

事件名	争点	事前に準備した事項	傍聴結果等

- (注) 1 尋問の傍聴に際し事前に準備した事項と、それを踏まえての傍聴結果、感想、証人尋問調書の検討等を記入する。
 2 事前に準備した事項について、起案欄で記入済みの場合にはその旨記入すれば足りる。

(5) 保全・執行・倒産等

① 保全

事件名	手続	内容	問題点及びその検討結果等	起案

- (注) 1 保全事件（仮差押、仮処分、保全異議、保全取消し）について、相談への立会い、申立書等の起案、裁判官との面談への立会い、担保金関係業務等を経験した場合には、ここに記入する。
2 既済事件の記録に基づき申立書等の起案を行った場合も記入する。

② 執行

事件名	手続	内容	問題点及びその検討結果等	起案

- (注) 1 執行事件について、相談への立会い、申立書等の起案、執行官による執行の立会い等を経験した場合には、ここに記入する。
2 既済事件の記録に基づき申立書等の起案を行った場合も記入する。

③ 倒産

事件名	手続	内容	問題点及びその検討結果等	起案

- (注) 1 倒産事件について、相談への立会い、申立書等の起案、管財人事務等、審尋期日、債権者集会の傍聴等を経験した場合には、ここに記入する。
2 既済事件の記録に基づき申立書等の起案を行った場合も記入する。

④ その他（証拠保全等）

事件名	手続	内容	問題点及びその検討結果等	起案

(注) 既済事件の記録に基づき申立書等の起案を行った場合も記入する。

3 1及び2以外の弁護士業務（契約書の起案等、株主総会等の立会傍聴、その他の弁護士業務）

番号	内容	問題点及びその検討結果等

(注) 内容欄には、実体法上の問題点、聴取技術・資料調査方法、弁護士倫理上考慮した点について適宜記入する。

4 基本資料及び重要な証拠収集（戸籍全部事項証明書、登記事項証明書、弁護士会照会等）

番号	内容	問題点及びその検討結果等

5 事務職員の業務（事件簿、ファイリング、文書管理、記録の保管、裁判所等との連絡事務、依頼者・顧問先データ管理、会計処理等について修習した場合）

内 容	問題点及びその検討結果等

II 刑事弁護

1 被疑者弁護

番号	事件名	自白・否認の別	活動の具体的内容	問題点とその検討結果等
	(<input type="checkbox"/> 少年) (<input type="checkbox"/> 国選 <input type="checkbox"/> 私選 <input type="checkbox"/> 当番)	<input type="checkbox"/> 自白 <input type="checkbox"/> 否認		
	(<input type="checkbox"/> 少年) (<input type="checkbox"/> 国選 <input type="checkbox"/> 私選 <input type="checkbox"/> 当番)	<input type="checkbox"/> 自白 <input type="checkbox"/> 否認		
	(<input type="checkbox"/> 少年) (<input type="checkbox"/> 国選 <input type="checkbox"/> 私選 <input type="checkbox"/> 当番)	<input type="checkbox"/> 自白 <input type="checkbox"/> 否認		

(注) 1 「自白・否認の別」の「否認」には、一部否認を含む。

2 「活動の具体的内容」には、接見、身体拘束からの解放に向けた活動、被疑者や関係者との面接、示談交渉、検察官との面談、起案（準抗告申立書等の裁判所提出書面だけでなく、弁護方針や問題点に関する検討メモも含む。）等の概要を記入する。

2 被告人弁護

番号	事件名	自白・否認の別	活動の具体的内容	問題点とその検討結果等
	(<input type="checkbox"/> 国選 <input type="checkbox"/> 私選)	<input type="checkbox"/> 自白 <input type="checkbox"/> 否認		
	(<input type="checkbox"/> 国選 <input type="checkbox"/> 私選)	<input type="checkbox"/> 自白 <input type="checkbox"/> 否認		

	(<input type="checkbox"/> 国選 <input type="checkbox"/> 私選)	<input type="checkbox"/> 自白 <input type="checkbox"/> 否認		
--	---	--	--	--

- (注) 1 被疑者段階から関与した被告人については、被疑者弁護欄の番号を記入する。
 2 「自白・否認の別」の「否認」には、一部否認を含む。
 3 「活動の具体的内容」には、接見、保釈請求、公判準備（証拠検討、方針検討、現場見分、被告人等との打合せ、尋問準備等）、示談交渉、公判前整理や公判への立会い、起案（保釈請求書、弁論要旨等の裁判所提出書面だけでなく、弁護方針や問題点に関する検討メモも含む。）の概要を記入する。

3 少年付添い

番号	事件名	自白・ 否認の別	活動の具体的内容	問題点とその検討結果等
	(<input type="checkbox"/> 国選 <input type="checkbox"/> 私選)	<input type="checkbox"/> 自白 <input type="checkbox"/> 否認		
	(<input type="checkbox"/> 国選 <input type="checkbox"/> 私選)	<input type="checkbox"/> 自白 <input type="checkbox"/> 否認		
	(<input type="checkbox"/> 国選 <input type="checkbox"/> 私選)	<input type="checkbox"/> 自白 <input type="checkbox"/> 否認		

- (注) 1 「自白・否認の別」の「否認」には、一部否認を含む。
 2 「活動の具体的内容」には、少年との面会、身体拘束からの解放に向けた活動、関係者との面接、示談交渉、調査官や裁判官との面会、審判準備（記録検討、方針検討、現場見分、証人や関係者等との打合せ、尋問準備等）、起案（意見書等の裁判所提出書面だけでなく、方針や問題点に関する検討メモも含む。）等の概要を記入する。

2 振り返り

課題を感じた事項	修習中の取組内容等

(注) 導入修習チェックシートの記載を見直し、導入修習中に感じた自己の課題について、分野別実務修習を通じて課題を感じた事項に変化があったか否か、新たに感じた課題も含めそれらの課題について分野別実務修習や同期間中の自学自修でどのように取り組んだかを振り返り、課題を解消できた程度や残された課題等についても記載してください。

- 選択型実務修習計画書の写しをこのページの直前に綴ってください。
-